

久留米未来デザイン計画 2035 の概要について

1 目的・性格

総合計画は、久留米市が将来どのようなまちを目指し、それを実現するために、どのようなことに取り組んでいくのかを示したまちづくりの指針となる計画です。

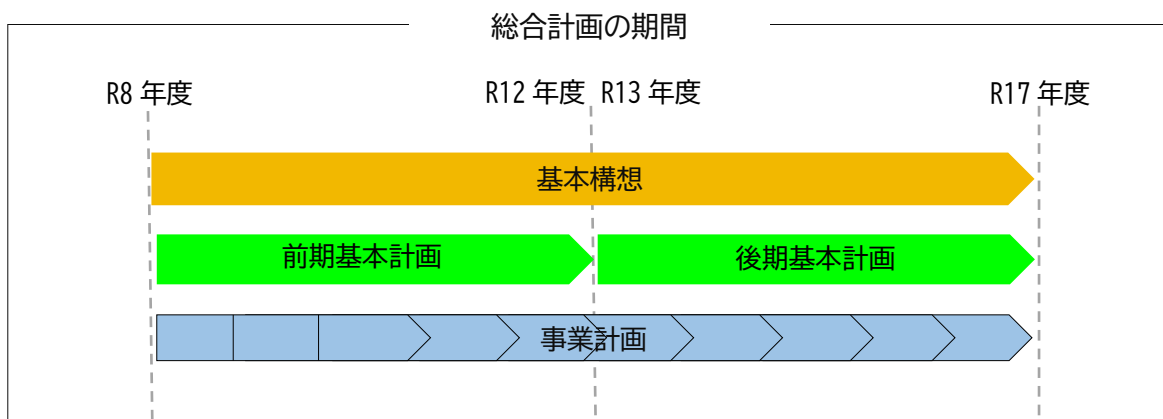
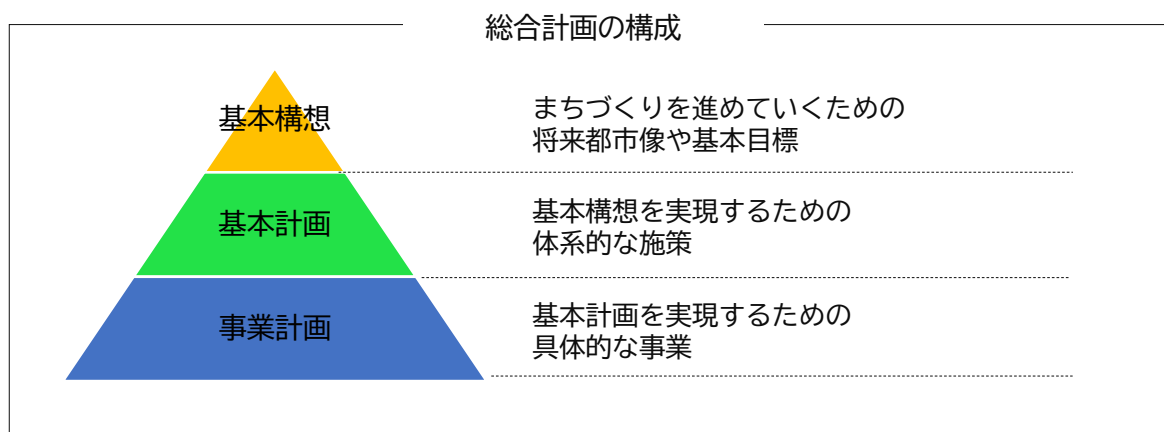
市民、事業者、団体、行政などの各主体が、それぞれの役割と責任のもとで協働して取り組む地域社会計画として策定します。

2 構成・期間

将来都市像や基本目標を示す「基本構想」は、令和 17（2035）年度までの 10 年間とします。

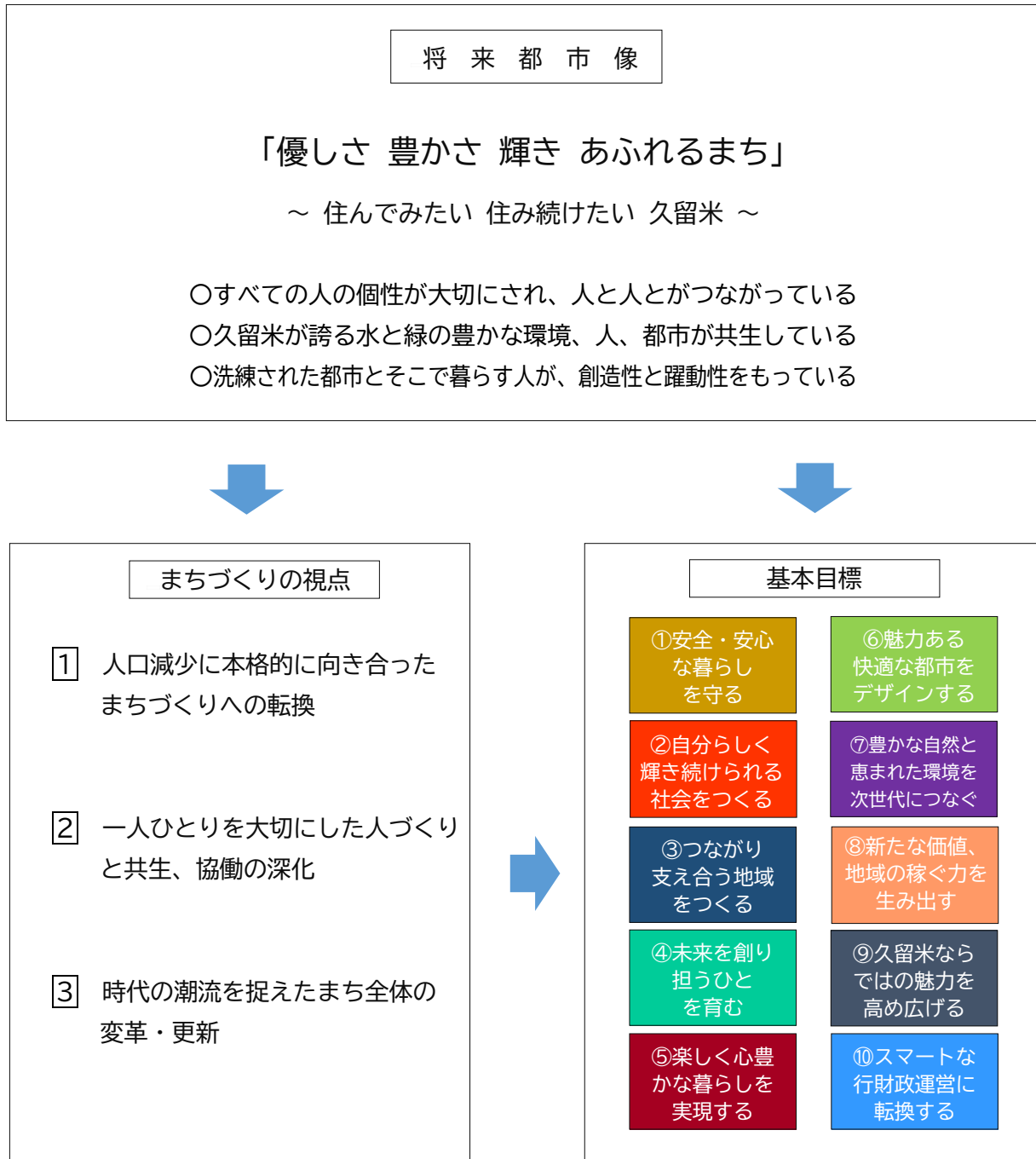
基本構想を実現するための施策を体系的に示す「基本計画」は、前期 5 年（令和 8 年～12 年）、後期 5 年（令和 13 年～17 年）とします。

基本計画を実現するための具体的な事業を示す「事業計画」は 3 年とし、毎年度見直しを行います。



3 基本構想（案）

これからのまちづくりを見据えるにあたり、未来に向けた新たなまちの姿として、「優しさ 豊かさ 輝き あふれるまち」を将来都市像に設定し、誰もが住んでみたい、住み続けたいと思うまちをめざします。将来都市像の実現に向けては、時代の潮流や急速に進む社会経済環境の変化に的確かつ柔軟に対応したまちづくりを進めるため、3つのまちづくりの視点をもって、10の基本目標を設定し、施策を展開します。



4 2035年の人口

日本社会全体の人口減少の進行を踏まえながら、持続可能で発展を続ける中核都市として、久留米市の将来人口推計及び本計画に示す施策展開の効果を考慮し、基本構想の目標年次である令和 17（2035）年度末の人口を 29 万人と設定します。

5 前期基本計画（案）

□ 基本的な考え方

将来都市像の実現に向けて、基本構想に掲げるまちづくりの視点ごとに取り組むべきポイントを次のとおり定め、戦略的な施策展開を図ります。

（１）人口減少に本格的に向き合ったまちづくりへの転換

- 人口減少スピードの緩和
- 人口減少や人口構造の変化の影響を見込んだ戦略性をもったまちづくり

（２）一人ひとりを大切に人づくりと共生、協働の深化

- あらゆる施策において人づくりの視点をもったまちづくり
- 支え合いながら共生できる地域づくり、協働の仕組みや環境づくりをより広げ深めるまちづくり

（３）時代の潮流を捉えたまち全体の変革・更新

- 気候変動リスクや急速なデジタル技術の進展、市民ニーズの多様化など環境の変化への対応
- 様々な領域で変革・更新を重ね、新たな魅力や活力を生み出すまちづくり

□ まちづくりの指標

市民、事業者、団体、行政などが、久留米市のめざす将来の姿を共有し、協働してまちづくりを進めていくために、『まちづくり評価』として、「計画全体の評価」と「目標毎の評価」を設定し、達成度や進捗度から将来都市像に掲げるまちづくりが進んだかどうかを共有します。

（１）計画全体の評価

久留米市が将来にわたって持続可能なまちとしてあり続けるためには、人口減少社会においても、その減少スピードを最大限緩和し、一定の人口規模を維持していくことが重要です。

計画全体の評価は、「人口」、人口動態の増減に影響を及ぼす市民の意識である「住みやすさ」「定住意向」で行います。

指標	区分
人口（住民基本台帳人口）	統計
住みやすさ（住みやすいと思う市民の割合）	意識
定住意向（住み続けたいと思う市民の割合）	意識

※目標人口の考え方

令和 12（2030）年度末の推計人口（住民基本台帳ベース）約 29 万 4 千人を基本に、基本構想の目標年次の人口設定を踏まえながら、計画に掲げた施策の実施による効果を考慮し、令和 12（2030）年度末の人口を 29 万 5 千人（住民基本台帳ベース）と設定します。

(2) 目標毎の評価

10の基本目標毎に計画に掲げる「めざす姿」の実現に近づいたかどうかを確認するため、目標毎にも評価を行います。評価は、次の2つの指標で行います。

①めざす成果

各基本目標の実現に向けて、そのめざす成果を総合的に示します。

②施策指標

めざす成果の実現状況进行评估にあたって、各施策の進捗状況を明らかにする指標として、施策ごとに「施策指標」を設定します。

《目標毎の評価一覧》

	基本目標	目指す成果	施策指標
1	「安全・安心な暮らし」を守る	安全・安心に暮らせると思う市民を増やす (市民意識調査)	防災に関する出前講座や研修に参加した人数、避難行動要支援者名簿の登録率 一般刑法犯認知件数、体感治安 休日・夜間の救急受入体制 (病院群輪番制事業実施率)
2	「自分らしく輝き続けられる社会」をつくる	生きがいをもって自分らしく暮らすことができていると思う市民を増やす (市民意識調査)	人権感覚を高めたい市民の割合、初めて人権研修に参加した人の割合 校区コミュニティ組織における女性役員の割合 健康づくりに取り組む市民の割合、福祉施設利用者の一般就労移行者数 認知症予防事業への参加者数
3	「つながり支え合う地域」をつくる	地域での支え合いや助け合いが充実していると感じる市民を増やす (市民意識調査)	支え合いの場の数 (通いの場、集いの場など) 市民活動・ボランティア活動の団体数 ボランティア活動や地域活動に参加したことがある市民の割合 地域の交流活動へ参加した外国人の数
4	「未来を創り担うひと」を育む	自分らしく学び、成長できるまちと思う市民を増やす (市民意識調査)	地域でのこども・若者の居場所の設置校区数 子育てしやすいまちだと感じる市民の割合 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 学習したことを地域や社会の中で活かすことができている市民の割合
5	「楽しく心豊かな暮らし」を実現する	心豊かに暮らしていると思う市民を増やす (市民意識調査)	文化芸術に触れる機会がある市民の割合 成人のスポーツ実施率 歴史遺産に触れる機会がある市民の割合
6	「魅力ある快適な都市」をデザインする	まちに出かけたいと思うような魅力や楽しみがあると思う市民を増やす (市民意識調査)	中心市街地の歩行者通行量、居住誘導区域内の人口の割合 生活支援交通の導入校区数 利活用が進んでいる公園の延べ数 上水道・下水道老朽化対策進捗率
7	「豊かな自然と快適な環境」を次世代につなぐ	日常で環境に配慮した取組をしている市民を増やす (市民意識調査)	再生可能エネルギー導入量 市民一人1日あたりのごみ排出量 クリーンパートナー登録者数
8	「新たな価値、地域の稼ぐ力」を生み出す	市民の所得水準を高める (統計調査)	製造品出荷額 農業産出額 働きやすい職場環境に関する認定を取得した事業所数
9	「久留米ならではの魅力」を高め広げる	久留米に愛着をもつ市民を増やす (市民意識調査)	中心市街地の歩行者通行量、観光入込客数 シティプロモーションサイトのPV (ページビュー) 件数 地価 (中心部商業地)、主要駅における乗降客数
10	「スマートな行財政運営」に転換する	持続可能な市民サービス提供、まちづくり推進体制を整える	市民活動団体や地域コミュニティ組織、事業者等との協働事業数 市役所に行かなくていいオンライン手続の導入割合

(3) 指標の目標年度

令和 7 (2025) 年度に把握可能な数値を現状値とし、前期基本計画の最終年度である令和 12 (2030) 年度を目標として設定します。

□ 次期基本計画のポイント（まちづくりの視点ごと）

(1) 人口減少に本格的に向き合ったまちづくりへの転換

○人口減少のスピードの緩和

- ・結婚・妊娠・出産を希望したくなる環境整備
- ・若者や女性にも選ばれる魅力ある地域づくり
- ・地域とのつながりや歴史・文化、教育などを通じた地域への愛着醸成

○人口減少や人口構造の変化の影響を見込んだまちづくり

- ・高齢者単身世帯（特に後期高齢者）の増加への対応、健康寿命の延伸
- ・コンパクトなまちづくりと生活機能の維持
- ・あらゆる分野での人手不足への対応

(2) 一人ひとりを大切にしたい人づくりと共生、協働の深化

○人づくりの視点をもったまちづくり

- ・生まれ育った環境に関わらず子どもが健やかに育つことのできる環境整備、教育の推進
- ・高齢者や障害者、困りごとを抱える人など様々な境遇の人の支援、活躍促進
- ・創業・就業、文化スポーツなど各分野での若年層の育成・支援

○共生、協働のまちづくりの深化

- ・地域における様々な主体がつながるネットワークづくりと支え合いの場づくりの推進
- ・民間団体等と連携した市民活動活性化の仕組み構築、多様な主体と連携する環境づくり
- ・外国人が安全・安心に暮らすことができる多文化共生の環境整備
- ・災害時など生活リスク発生時にあらゆる人が安心して生活できる環境整備
- ・生涯学習や文化芸術など多様な分野を通じた地域づくり、つながりづくり

(3) 時代の潮流をとらえたまち全体の変革・更新

○環境の変化への対応

- ・災害や感染症などを想定した危機管理体制の強化、生活リスクへの対応
- ・各分野におけるデジタル化・DXの促進、効率化など生産性の向上
- ・脱炭素化のまちづくりの推進

○新たな魅力や活力を生み出すまちづくり

- ・地域の成長につながる核づくり、都市の更新
- ・まちづくりへの民間の資源投入や活力導入を促進する仕掛けづくり
- ・時代の潮流をとらえた戦略的な産業政策

未来デザイン計画2035前期基本計画に掲げる基本施策

まちづくりの視点	必要な対応	ポイント	施策・取組
人口減少に本格的に向き合ったまちづくりへの転換	人口減少のスピードの緩和	結婚・妊娠・出産を希望したくなる環境整備	・社会環境やニーズの変化に対応した子育て支援への転換【施策13】 ・ワーク・ライフ・バランス、女性活躍、福利厚生向上など働きやすい職場環境の整備促進【施策28】 ・産学官金労の連携による学生・若年者の地元就職、Uターン就職の促進【施策28】 ・若者にも選ばれる都市空間の形成など魅力的な中心市街地の創出【施策19】 ・固定的性別役割分担意識の解消とジェンダー平等の意識づくりに向けた啓発、教育の実践【施策05】
		若者や女性にも選ばれる魅力ある地域づくり	
		地域とのつながりや歴史・文化、教育などを通じた地域への愛着醸成	・市民活動への参加意欲を高め、活動を促進するための仕組みづくり【施策09】 ・久留米にゆかりのある文化芸術の取組の充実【施策16】、郷土愛を育む歴史遺産の理解促進【施策18】 ・ふるさと久留米への誇りと愛着を育む教育の実践【施策14】
	人口減少や人口構造の変化の影響を見込んだまちづくり	高齢者単身世帯(特に後期高齢者)の増加への対応、健康寿命の延伸	・地域における様々な支え合いの場づくりの推進【施策08】 ・介護予防、認知症施策の推進、終活支援の推進【施策07】 ・働く世代から高齢期まで連続した健康づくりの強化【施策06】
		コンパクトなまちづくりと生活機能の維持	・拠点駅周辺整備、居住誘導、土地利用見直しなどによるコンパクトな拠点市街地の形成【施策19】 ・地域間をつなぐ交通機能の強化、地域特性に応じた生活支援交通の構築【施策20】
		あらゆる分野での人手不足への対応	・地域医療体制の維持【施策03】、介護・福祉人材の確保・育成【施策07】 ・地域で活躍できる多様な人材の発掘・育成【施策10】 ・農業で活躍する担い手づくり【施策27】 ・多様な人材確保のための雇用・就労の促進【施策28】
一人ひとりを大切にしたい人づくりと共生、協働の深化	人づくりの視点をもったまちづくり	生まれ育った環境に関わらず子どもが健やかに育つことのできる環境整備、教育の推進	・こども・若者の権利の保障、夢や希望をもって成長できる環境の整備【施策12】 ・こどもの健やかな育ちを守る支援体制の強化【施策12】 ・こどもの文化芸術体験機会や活動の場の創出【施策16】 ・未来につながる教育、誰ひとり取り残されない教育の推進【施策14】
		高齢者や障害者、困りごとを抱える人など様々な境遇の人の支援、活躍促進	・高齢者や障害者の就労・社会参加の促進【施策06】、活躍促進のための就労機会の確保【施策28】 ・高齢者や障害者の福祉の充実【施策07】 ・生活困窮者支援の充実【施策07】
		創業・就業、文化スポーツなど各分野での若年層の育成・支援	・若年層の創業支援充実【施策26】、職業能力の向上に向けた支援【施策28】 ・新規就農者や青年就農者など次世代の担い手の確保・育成【施策27】 ・文化芸術分野における若い世代をはじめとした担い手の育成や支援【施策16】

まちづくりの視点	必要な対応	ポイント	施策・取組
一人ひとりを大切に した人づくりと共生、協働 の深化	共生、協働のまちづくり の深化	地域における様々な主体がつながるネットワークづくりと支え合いの場づくりの推進	・地域における様々な支え合いの場づくり、つながりづくりの推進【施策08】 ・地域共生社会に向けた地域の様々な主体がつながるネットワークづくり【施策08】 ・こども・若者・子育てを支え合う地域づくり【施策13】
		民間団体等と連携した市民活動活性化の仕組み構築、多様な主体と連携する環境づくり	・事業者、大学等を含めた多様な主体のまちづくりへの参加意欲の醸成や参加促進【施策09】 ・持続可能な市民活動の仕組みの構築【施策09】 ・多様な主体が連携した地域コミュニティづくり【施策10】
		外国人が安全・安心に暮らすことができる多文化共生の環境整備	・生活・行政情報の多言語化や「やさしい日本語」使用、地域や学校での日本語学習支援【施策11】 ・多文化共生の意識啓発・醸成、地域での相互理解や交流活動の促進【施策11】 ・外国人材の受入れに関する国や県、関係団体との連携【施策28】
		災害時など生活リスク発生時にあらゆる人が安心して生活できる環境整備	・女性や高齢者、障害者をはじめ誰もが安全で安心して避難できる環境づくり【施策01】 ・地域共生社会に向けた包括的な支援体制の構築【施策08】
		生涯学習や文化芸術など多様な分野を通じた地域づくり、つながりづくり	・「学び」による地域で活躍する人づくり、つながりづくり、地域づくり【施策15】 ・文化芸術、スポーツを通じた交流やつながりづくりの促進【施策16, 17】 ・公園を活用した多様な人の交流を生み出す都市空間の創出【施策21】
時代の潮流をとらえた まち全体の変革・更新	環境の変化への対応	災害や感染症などを想定した危機管理体制の強化	・ハード・ソフト両面からの災害対策の推進【施策01】 ・健康づくり・健康危機管理の拠点としての保健所機能の充実・強化【施策03】
		各分野におけるデジタル化・DXの促進、効率化など生産性の向上	・防災DXの推進【施策01】、ICTを活用した医療効率化の支援【施策03】、学びの充実【施策14】 ・先端技術を活用した地域企業の経営力強化の支援【施策26】、農業の生産性・付加価値の向上【施策27】 ・デジタル化・DX推進による観光分野の受入環境・基盤づくり【施策29】 ・行かなくていい市役所など自治体DXの推進【施策33】
		脱炭素化のまちづくりの推進	・一人ひとりが自ら考え、環境に配慮した行動を実践するまちづくり【施策23】 ・建築物脱炭素化・再エネ導入の促進【施策23】 ・企業等の脱炭素経営の促進【施策23】
	新たな魅力や活力を生み出すまちづくり	地域の成長につながる核づくり、都市の更新	・JR久留米駅や西鉄久留米駅の拠点機能強化、連動した住環境やオフィス環境の充実【施策19】 ・道路交通ネットワーク強化に向けたスマートIC整備推進、活用したまちづくり【施策20】 ・広域的な求心力を備えた正源氏公園の整備【施策21】
		まちづくりへの民間の資源投入や活力導入を促進する仕掛けづくり	・民間など多様な主体と連携を強化するエリアマネジメントの推進【施策19】 ・都市インフラの管理・運営における民間活力導入の推進【施策22】 ・行財政運営へ民間の創意工夫やノウハウを取り入れる仕組みの構築【施策33】
		時代の潮流をとらえた戦略的な産業政策	・雇用創出や経済波及効果につながる成長分野企業の誘致推進【施策26】 ・バイオ産業の拠点化や創業ネットワークの推進による新産業・新技術の創出【施策26】 ・農業の生産性・付加価値の向上【施策27】